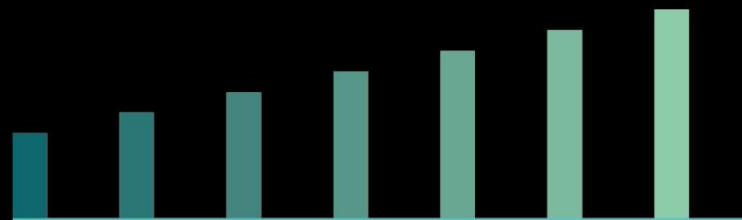




NICIGAS
ニチガス

2019年3月期
第1四半期
決算説明資料



1Q

2018年7月26日 日本瓦斯株式会社

目次

1 19/3期 営業利益計画 P.2

2 決算の実績

サマリー P.3

LPガス事業 P.4

旧都市ガス事業 P.5

新都市ガス事業 P.6

3 3ヶ年計画の進捗 P.7

4 株主様への還元 P.11

5 海外事業 P.12

6 財務ハイライト P.13

7 原料価格の推移 P.16

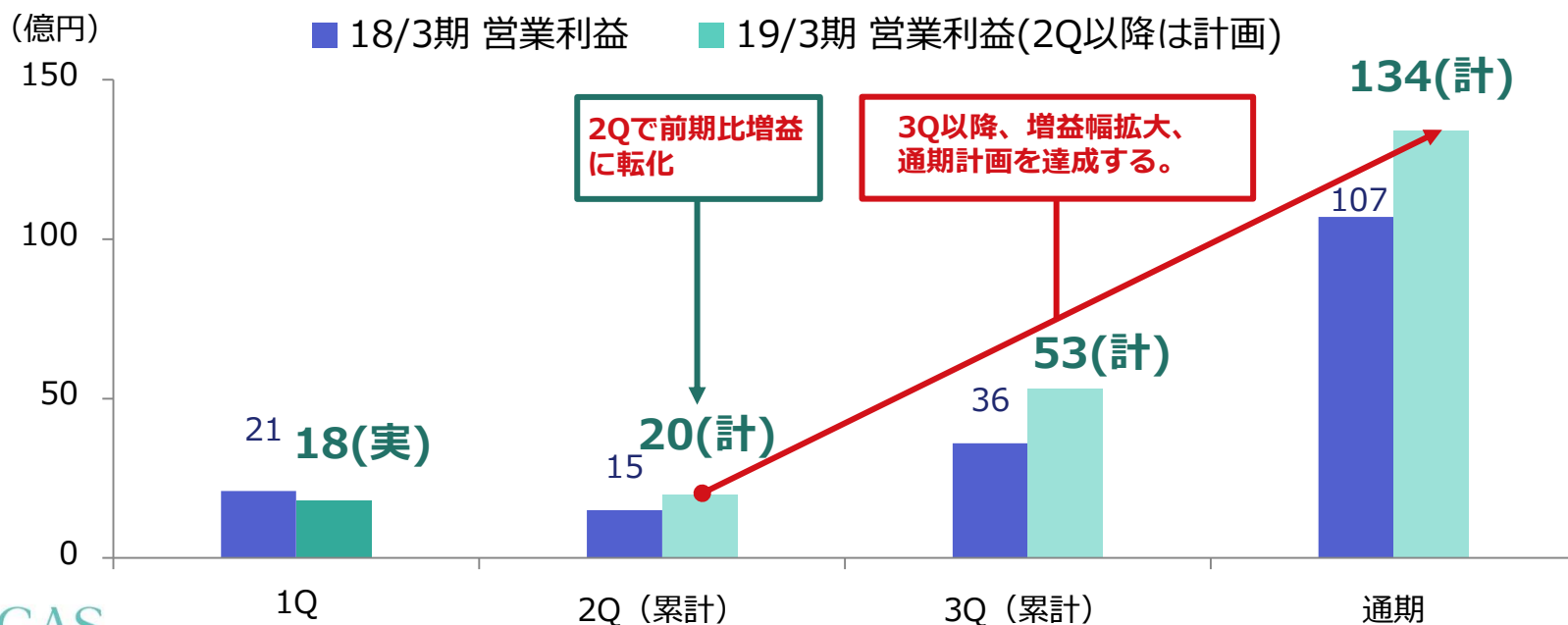
1. 19/3期 営業利益計画

2Qで前期比増益に。以降、増益幅拡大しながら計画達成する

- 19/3期1Qの営業利益は18億円（前期比▲3億円）。2Qで採算良化により前期比増益に転化し、秋以降に開始する電力小売に積極投資。これを追い風に増益幅を更に拡大。通期の営業利益計画134億円を達成する。

18/3期-19/3期 営業利益の推移

(億円)	1Q	2Q(累計)	3Q(累計)	通期
18/3期(前期)	21(実績)	15(実績)	36(実績)	107(実績)
19/3期(今期)	18(実績)	20(計画)	53(計画)	134(計画)



2. 決算の実績／サマリー（18/4月-6月の3ヶ月間）

お客様数大幅伸長。高気温・原料高の局面で採算改善に努める

- お客様数は都市ガス自由化により前期比+12.5万件となる137万件に増加。
- ガス販売量は高気温の影響を大きく受け、また原料価格が上昇基調の3ヶ月間となったが、販売価格設定等で採算改善に努め、粗利は前年同額、営業利益は前期比微減となる18億円となった。

全セグメント合計	2018/3期1Q (4月-6月)	2019/3期1Q (4月-6月)	増減	増減率
PL(億円)				
売上高	267	287	+20	+7%
(LPガス事業)	156	160	+4	+3%
(旧都市ガス事業)	105	108	+3	+3%
(新都市ガス事業)	5.8	18	+12.2	+210%
粗利益	140	140	+0	+0%
販管費	119	122	+3	+3%
(顧客獲得費用*)	19	16	▲3	▲16%
(広告宣伝費)	9	9	+0	+0%
営業利益	21	18	▲3	▲14%
(LPガス事業)	15	14	▲1	▲7%
(旧都市ガス事業)	15	13	▲2	▲13%
(新都市ガス事業)	▲8.8	▲9	▲0.2	-
当期純利益	16	10	▲6	▲38%
業容				
お客様純増数(件)	47,209	34,163	▲13,046	▲28%
お客様数(件)	1,247,762	1,372,409	+124,647	+10%
ガス販売量(千トン)	159.7	163	+3.3	+2%
(LPガス事業)	82	77	▲5	▲6%
(旧都市ガス事業)	77	73	▲4	▲5%
(新都市ガス事業)	0.7	12	+11.3	+16倍

* “顧客獲得費用”はLPガスの顧客増加と維持に要した費用。
(ボンベ・メーター類・工事費用・サービス品・営業費用等の合計)

* 実数の単位未満は端数処理しております。
* 増減、増減率は億円表示処理後で算出しております。

2. 決算の実績／LPガス事業

高気温でガス販売量減少も粗利で増益。営業利益はほぼ横ばい

- 高気温を背景にガス販売量は前期比減も、原料高値推移の中で販売価格を適正に設定、機器販売の採算向上と相俟って、粗利段階で増益とした。販管費では、顧客獲得費用削減も、全体では前期比+3億円増加し、営業利益はほぼ横ばいの14億円となった。

単位：億円

LPガス事業	2018/3期1Q (4月-6月)	%	2019/3期1Q (4月-6月)	%	増減	コメント
売上高	156	100%	160	100%	+4/+3%	
(内、ガス)	137		141		+4/+3%	
(内、機器、工事他)	19		19		+0/+0%	
粗利益	89	57%	91	57%	+2/+2%	・適正な販売価格設定+機器販売の採算向上
販管費	74	47%	77	48%	+3/+4%	
(人件費)	21		23		+2/+10%	・社員増加+ベースアップ
(顧客獲得費用*)	19		16		▲3/▲16%	
(償却費)	8		8		+0/+0%	
営業利益	15	10%	14	9%	▲1/▲7%	
顧客獲得費用を除く 営業利益(ご参考)	34		30		▲4/▲12%	・顧客獲得費用の変動を控除したニチガスのKPI
お客様純増数(件)	8,774		6,205		▲2,569/▲29%	
お客様数(件)	804,442		833,992		+29,550/+4%	
ガス販売量(千トン)	82		77		▲5/▲6%	
家庭用	50		48		▲2/▲4%	
業務用	32		30		▲2/▲6%	

*“顧客獲得費用”はLPガスの顧客増加と維持に要した費用。
(ボンベ・メーター類・工事費用・サービス品・営業費用等の合計)

*実数の単位未満は端数処理しております。
*増減は、億円表示処理後で算出しております。

2. 決算の実績／旧都市ガス事業

ガス販売量減少と原料価格上昇で営業利益は前期比微減

- 高気温を背景にガス販売量は前期比減。原料価格上昇が影響し、粗利益は前期比▲3億円となる47億円、販管費は微減し、営業利益は前期比微減の13億円となった。
- お客様純増数は0.4千件(前期比▲2千件)。旧都市ガス地域で自由化の活性化が進んでいる。

単位：億円

旧都市ガス事業	2018/3期1Q (4月-6月)	%	2019/3期1Q (4月-6月)	%	増減	コメント
売上高	105	100%	108	100%	+3/+3%	
(内、ガス)	88		90		+2/+2%	
(内、機器、工事他)	17		18		+1/+6%	
粗利益	50	48%	47	44%	▲3/▲6%	・原料価格上昇が影響
販管費	35	33%	34	31%	▲1/▲3%	
(償却費)	16		16		+0/+0%	
(人件費)	10		9		▲1/▲10%	
営業利益	15	14%	13	12%	▲2/▲13%	
お客様純増数(件)	2,787		404		▲2,383/▲86%	・旧都市ガス地域で自由化の活性化が進む
お客様数(件)	407,672		412,735		+5,063/+1%	
ガス販売量(千トン)	77		73		▲4/▲5%	
家庭用	30		29		▲1/▲3%	
業務用	47		44		▲3/▲6%	
スライドタイムラグ	▲0.6		▲0.6		+0/+0	

* 実数の単位未満は端数処理しております。

* 売上高に占める割合及び増減は、億円表示処理後で算出しております。

2. 決算の実績／新都市ガス事業

お客様数が大幅増加しガス販売量伸長。1Qに広告を重点投入

- 18/6月末の新都市ガスお客様数は126千件、前年比で大きく増加。
- ガス販売量の伸長に伴い粗利益も増加したが、1Qに重点的に7億円の広告費を投入(通期の広告費計画は14億円)して販管費は11億円、営業利益は▲9億円となった。

単位：億円

新都市ガス事業	2018/3期1Q (4月-6月)	%	2019/3期1Q (4月-6月)	%	増減	コメント
売上高	5.8	100%	18	100%	+12.2/+210%	
(内、ガス)	0.6		14		+13.4/+22倍	
(内、機器、工事他)	5.2		4		▲1.2/▲23%	
粗利益	0.6	10%	2	11%	+1.4/+233%	・粗利益は原料、東京ガス社託送料、初年度割引控除後。
販管費	9.4	162%	11	61%	+1.6/+17%	
オペレーション費用他	1.8		4		+2.2/+122%	
広告宣伝費	7.5		7		▲0.5/▲7%	・主にTVCM費用。
託送料(東京ガス社分 だけは原価計上)	0.02		0.5		+0.48/+24倍	・地方都市ガス会社からのお客様切替に伴い増加。
営業利益	▲8.8	▲152%	▲9	▲50%	▲0.2/-	
お客様純増数(件)	35,648		27,554		▲8,094/▲23%	
お客様数(件)	35,648		125,682		+90,034/+253%	
ガス販売量(千トン)	0.7		12		+11.3/+16倍	・お客様数の大幅増加による。
家庭用	0.6		9		+8.4/+14倍	
業務用	0.1		3		+2.9/+29倍	

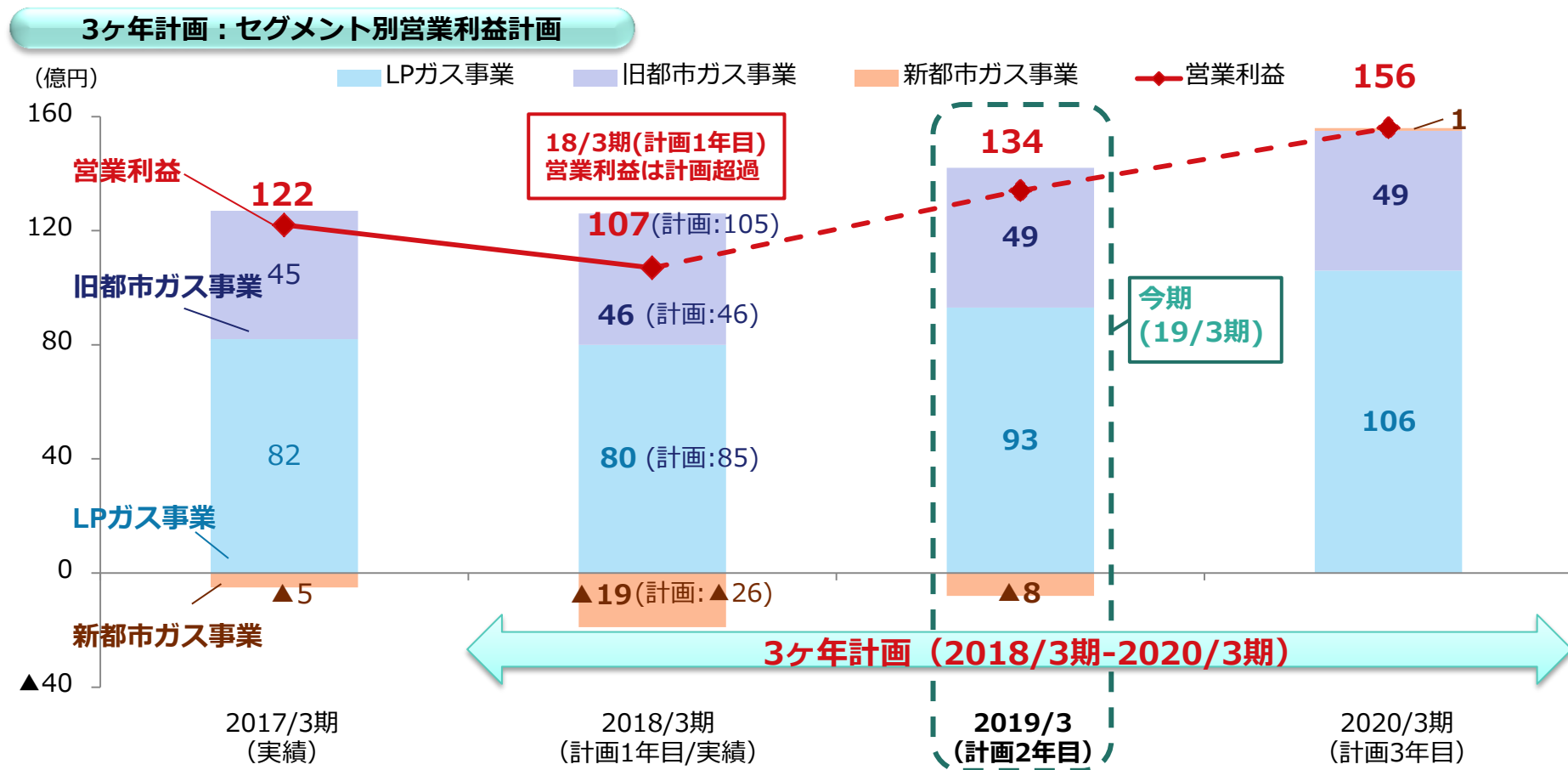
* 実数の単位未満は端数処理しております。

* 売上高に占める割合及び増減は、億円表示処理後で算出しております。

3. 3ヶ年計画の進捗：セグメント別営業利益計画

1年目(18/3) は計画を超過、2年目の今期は大幅増益を計画！

- 今回、3ヶ年計画に見直しは無い。1年目(18/3)の営業利益は107億円、計画を2億円超過して達成。2年目の今期は大幅増益となる**134億円**を計画。V字回復に向けスタート。



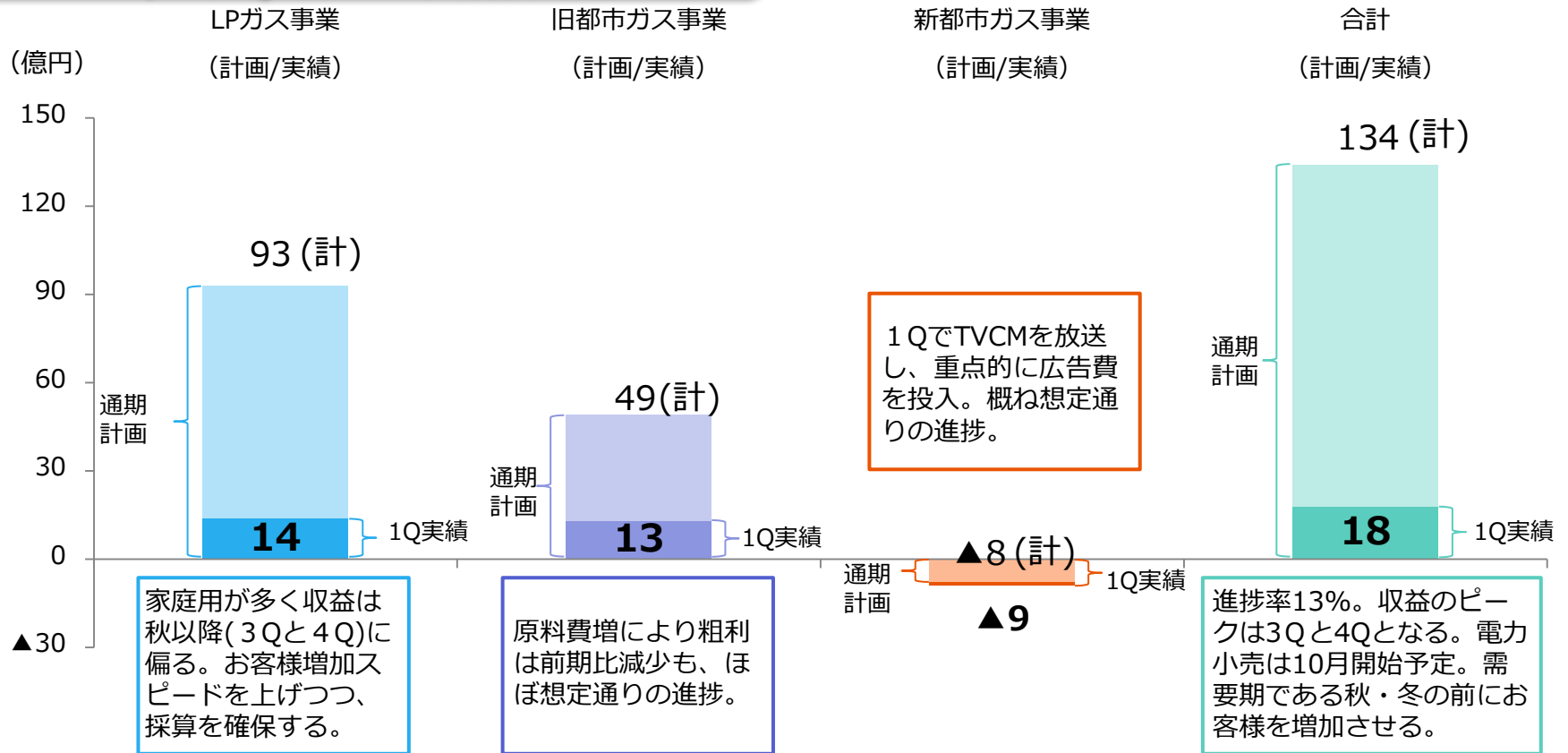
次頁 (P.8) で19/3期の進捗についてご説明

3. 3ヶ年計画の進捗：19/3期の各セグメント進捗

収益ピークは秋以降。お客様増加と採算確保で計画を達成する

- 1Qの営業利益は18億円。通期営業利益計画134億円に対して1Q進捗率は13%となるものの、これはガス事業の収益ピークが秋から冬(3Qと4Q)に訪れる為である。秋以降の電力小売開始とともにお客様増加スピードを上げ、計画を達成する。

19/3期1Q セグメント別営業利益



* 実数の単位未満は端数処理しております。

3. 3ヶ年計画の進捗：お客様増加の進捗

通期計画に向けて各セグメントでお客様数を積み上げる

- 19/3期 1Q（4月-6月）のお客様純増数は34千件（進捗率13%）。
- うちLPガス純増数は6千件、進捗率13%。収益性を鑑みて集合物件へのアポイントメントを見直したことで、M&A案件が未成立であったことが主因。
- 旧都市ガス純増数は0.4千件（進捗率4%）、新規参入者への切替が主因。市場活性化が進む。
- 新都市ガス純増数は28千件（進捗率14%）。マンションのオーナー様との大口契約が成立。
- 10月開始予定の電力・ガスセット販売により、3Q以降、お客様増加数の大幅伸長を図る。

お客様増加の進捗（単位：千件）

	2019/3期 計画	2019/3期 1Q 実績	進捗率	2020/3期 計画
LPガス純増数	45	6	13%	50
旧都市ガス事業 ^{*1} 純増数	10	0.4	4%	10
新都市ガス事業 ^{*2} 純増数	200	28	14%	200
合計	255	34	13%	260
総お客様数	1,593	1,372	-	1,853

*1：既に都市ガスを供給していた区域での事業。

* 実数の単位未満は端数処理しております。

*2：都市ガス小売自由化後に進出可能となった区域での都市ガス事業。

3. 3ヶ年計画の進捗：参考／セグメント別収支計画

3年間で新都市ガス事業を黒字化

単位：億円	2017/3期 (実績)	3ヶ年計画		
		2018/3期 (実績) 自由化初年度	2019/3期 (計画) 自由化2年目	2020/3期 (計画) 自由化3年目
LPガス事業				
お客様純増数(千件)	35	32	45	50
お客様数(千件)	796	828	873	923
ガス販売量(千トン)	315	330	340	352
粗利益	375	373	388	406
販管費	293	293	295	300
営業利益	82	80	93	106
旧都市ガス事業 (旧、自社都市ガスエリア)				
お客様純増数(千件)	12	7	10	10
お客様数(千件)	405	412	422	432
ガス販売量(千トン)	325	323	323	321
粗利益	188	197	197	195
販管費	143	151	148	146
営業利益	45	46	49	49
新都市ガス事業 (旧、他社都市ガスエリア)				
お客様純増数(千件)	-	98	200	200
お客様数(千件)	-	98	298	498
ガス販売量(千トン)	-	21.4	80	160
粗利益	6	8	25	45
販管費	11	27	33	44
オペレーション費用他	1	9	16	25
広告宣伝費	10	17	14	12
託送料 (東京ガス社分だけは原価計上)	0	0.9	3	7
営業利益	▲5	▲19	▲8	1

顧客基盤拡大。
黒字転換。

4. 株主様への還元

増配継続。配当額は42円(18/3)→46円(19/3)に。

- 株主還元を引き続き重視。19/3期も増配を継続する。
- 17/4月にガス自由化スタート。19/3期は投資ステージとなるが、財務面の充実、CF状況を総合的に勘案、成長資金を確保しながらも増配を継続することで、株主還元の充実を図る。

単位：1株あたり配当及び1株あたり当期純利益は円、その他は百万円

	13/3期 (実績)	14/3期 (実績)	15/3期 (実績)	16/3期 (実績)	17/3期 (実績)	18/3期 (実績)	19/3期 (予想)
1株あたり 配当額(円)	13	26	26	30	34	42	46円 中間配当23円 期末配当23円
配当額	631	1,120	903	1,185	1,461	1,804	1,977
配当性向 (1株あたり 当期純利益)	16.7% (78.01)	11.8% (220.93)	17.5% (148.26)	15.7% (190.71)	21.0% (161.93)	23.0% (182.62)	21.4% (215.44)
自己株式取得額	1	10,239 ^{※1}	14,394 ^{※2}	2	2	3	2

*配当額は決議ベース
配当性向 = 1株あたり配当額 / 1株あたり当期純利益

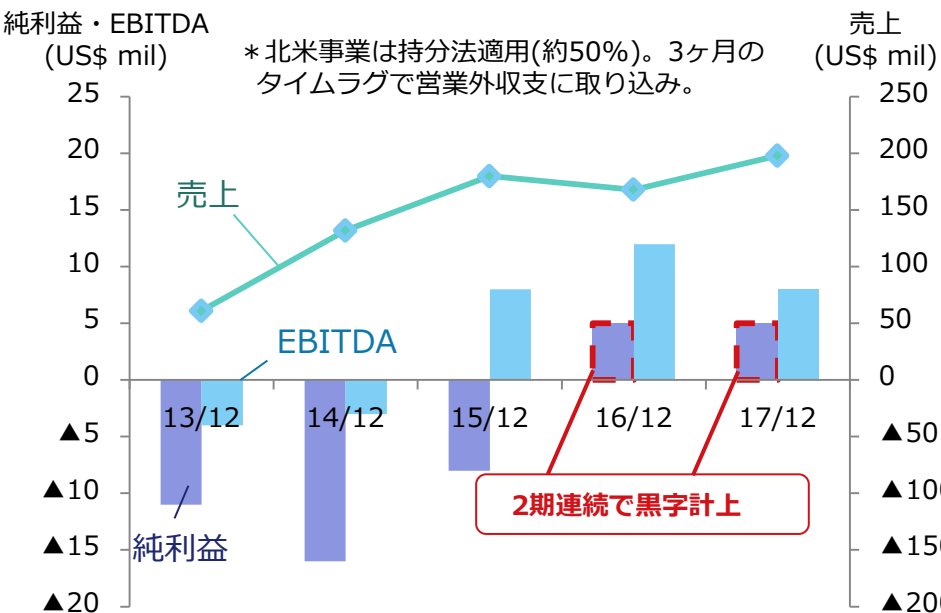
※1 大株主であった岩谷産業社他から取得 ※2 大株主であったOEP社から取得

5. 海外事業

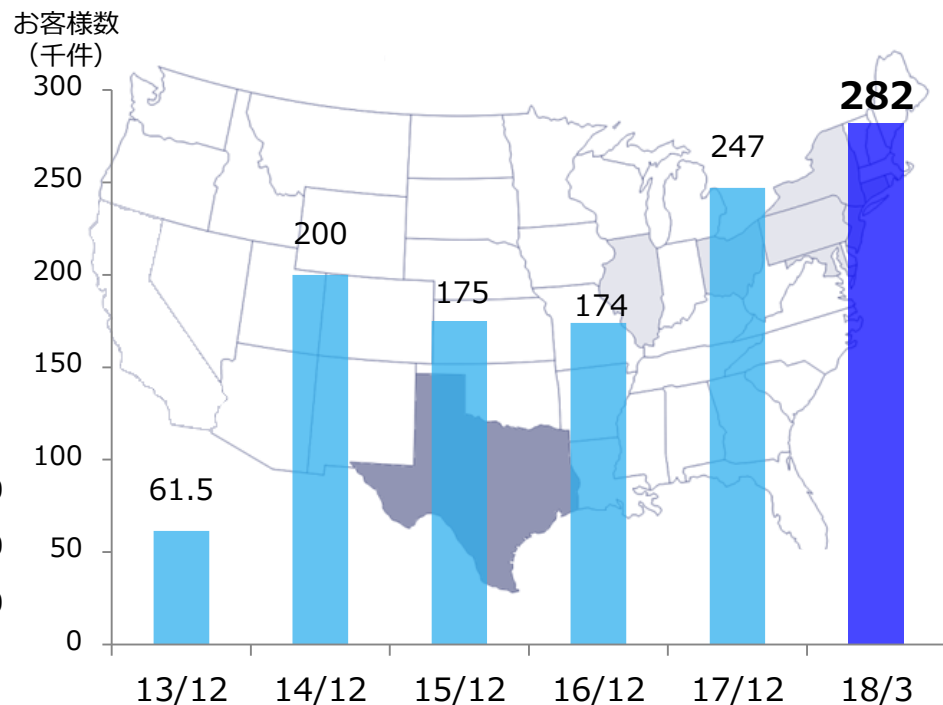
17/12期は2期連続黒字。18/1月-3月は大寒波の影響で減益

- 17/12期の純利益は約\$5mil。北米事業全体では2期連続で黒字計上。
- 18/3末までにお客様数は28.2万件に増加。一方、18/1月-3月に発生した大寒波による原料価格上昇の影響により北米事業全体の純利益は約▲\$6mil、持分法適用による当社利益への取り込みは約▲\$3mil。

北米事業 業績推移



北米事業 お客様数の推移

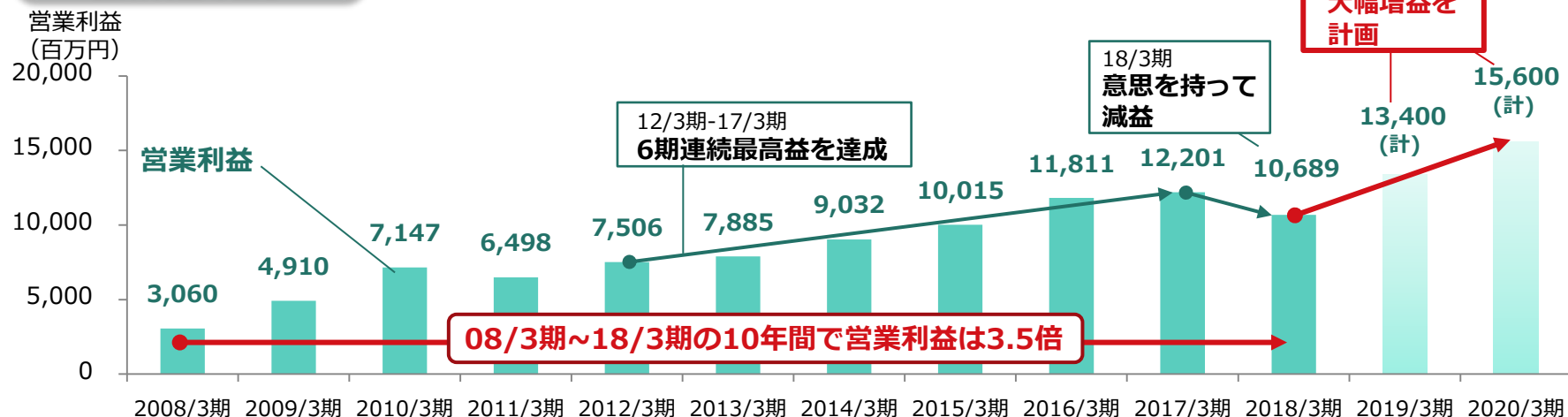


6. 財務ハイライト／利益とお客様数の成長

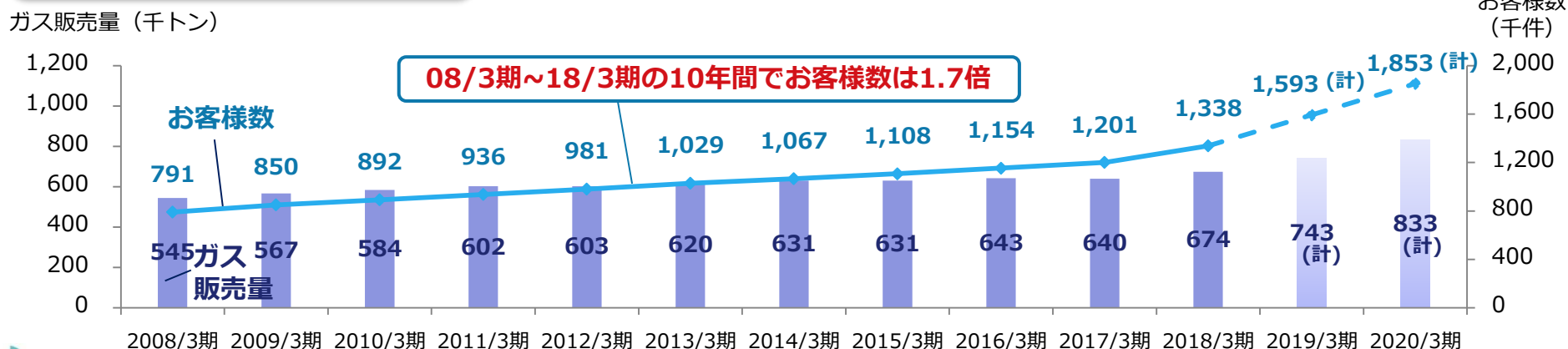
10年で営業利益、お客様数が大幅成長。19/3期以降に増益計画

- 08/3期～18/3期の10年間で営業利益は3.5倍、お客様数は1.7倍に成長。18/3期は成長投資のために意思を持って減益とした。19/3期以降に大幅増益を計画。

営業利益の推移



お客様数／ガス販売量

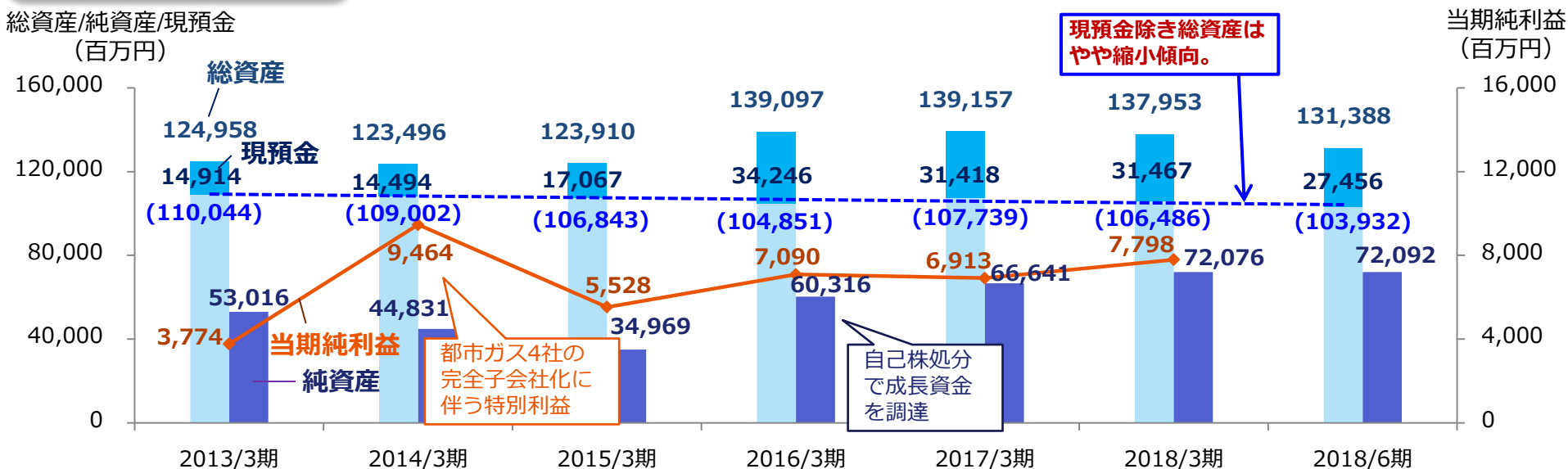


6. 財務ハイライト／B/S

資産規模を維持しつつ利益を増加。財務基盤も強固に

- 13/3期以降、総資産(現預金除き)規模はやや縮小傾向。15/3期に前期の(特益の)反動で減益となったが、これを除くと利益は概ね増加基調。
- 18/6月末時点の自己資本比率は54.9%。資本効率への意識を一層高めていく。

B/Sと純利益の比較



B/S (百万円)	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2018/6期
自己資本比率	32.2%	36.3%	28.2%	43.4%	47.9%	52.2%	54.9%
Net有利子負債*1	29,730	34,578	44,286	16,937	13,572	7,462	9,594
Net D/E Ratio	0.56倍	0.77倍	1.27倍	0.28倍	0.20倍	0.10倍	0.13倍
ROA*2	3.0%	7.7%	4.5%	5.1%	5.0%	5.7%	-
ROE*3	9.8%	22.2%	13.9%	14.9%	10.9%	11.2%	-

*1 リース債務を含めておりません

*2 ROA=当期純利益÷総資産×100

*3 ROE=当期純利益÷(前期および当期自己資本の平均値)×100
自己資本は純資産から非支配株主持分を差し引いたもの。

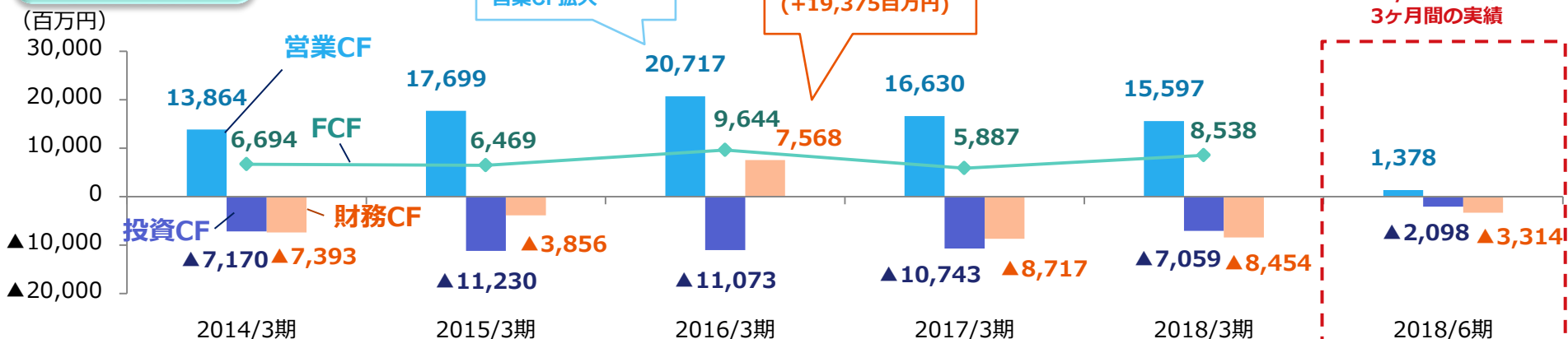
* 実数の単位未満は端数処理しております。

6. 財務ハイライト／Cash Flow

19/3期は成長に向けた投資ステージ

- 19/3期は成長に向けた投資ステージ。2Q以降、今後のLPガス事業拡大の礎となる設備に対し、手元現金を中心に大きく資金を投じる計画。1Qは季節性によりCashは一時的に減少。

Cash Flow



Cash Flow (百万円)	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2018/6期*
営業CF	13,864	17,699	20,717	16,630	15,597	1,378
投資CF	▲7,170	▲11,230	▲11,073	▲10,743	▲7,059	▲2,098
財務CF	▲7,393	▲3,856	7,568	▲8,717	▲8,454	▲3,314
FCF	6,694	6,469	9,644	5,887	8,538	▲720

*FCF (Free Cash Flow)=営業CF-投資CF

設備投資内訳

	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2018/6期*
パイプライン	6,645	5,918	5,142	5,664	4,533	1,131
車両	1,360	1,224	1,396	833	1,230	196
デポステーション	78	644	590	1,093	805	147
ガス供給設備	580	621	624	650	652	57
ICT	471	400	1,466	1,423	932	337
充填基地 (ハブ)	0	0	0	97	0	0
M&A	317	332	320	444	69	0
その他	615	3,830	1,847	314	757	151

単位：百万円

<CF 前期比較 (億円)>

	17/6	18/6	差異
営業CF	+15	+14	▲1
・税前純利益	+25	+17	▲8
・持分法投資損益	+0	+4	+4
・売掛金、在庫	+28	+24	▲4
・買掛金	▲36	▲30	+6
投資CF	▲22	▲21	+1
財務CF	▲27	▲33	▲6
・借入収支	▲17	▲21	▲4
・配当	▲7	▲10	▲3
FCF	▲8	▲7	+1

- 「設備投資内訳」は発生主義でカウントし、建設仮勘定等も調整。
- 実数の単位未満は端数処理しております。

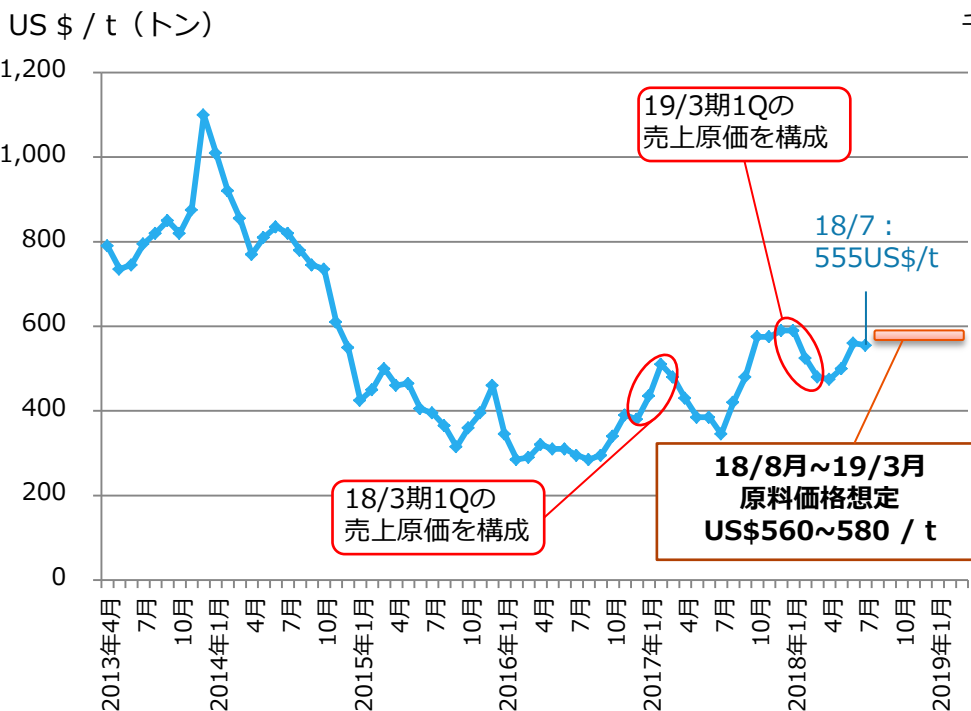
*18/4月-6月の3ヶ月間の実績

7. 原料価格の推移

原料は上昇基調。適正な販売価格で対応

- LPガスの原料価格は上昇基調、適正な販売価格で対応。原料価格想定を見直し、18/8月~19/3月の原料価格をUS\$560~580/tと想定。
- 都市ガス事業の原料となるLNG原料価格も緩やかに上昇している。19/3期の原料価格は54.3~58.6千円/tを想定。期初想定の上限を下回って推移している。

プロパンガスFOB価格推移

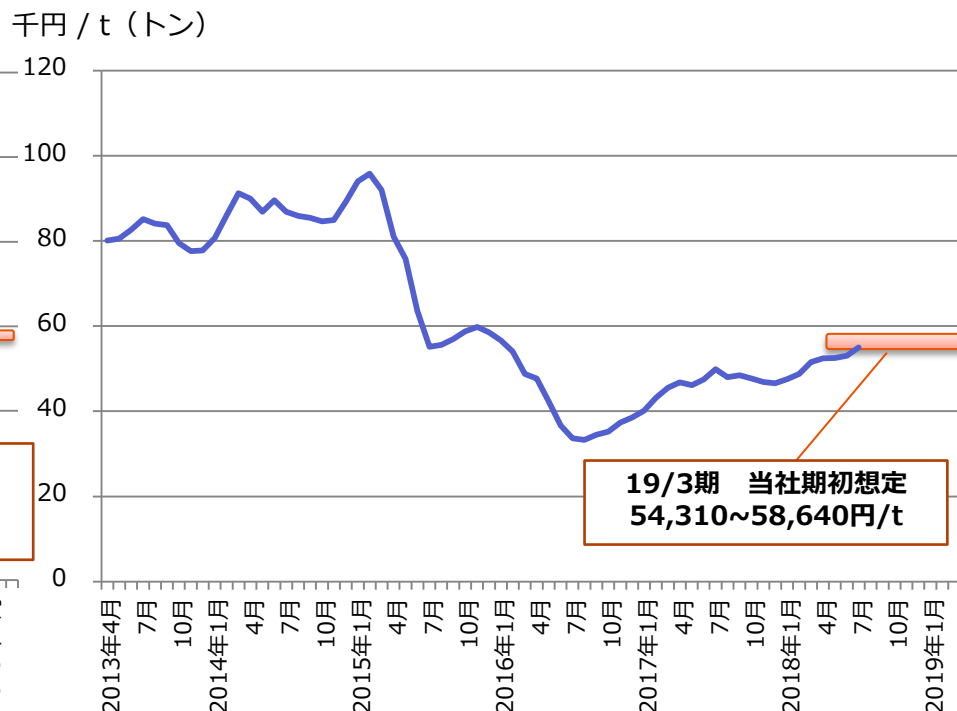


為替想定

19/3期上期 : 113円/US\$

19/3期下期 : 118円/US\$

LNG原料価格推移



出典

- ・ FOB価格 : 日本LPガス協会ホームページ
- ・ LNG原料価格 : 当社平均仕入価格